3-100-611-**05** (1)

お客様・販売店様・特約店様用

壁掛けユニット

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実な取り付けを行ってください。

⚠警告　安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様・特約店様へ

壁掛けユニットの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際には取扱説明書をよくご覧の上、設置を行ってください。取り付け不備や、取り扱い不備、対応モデル以外でのご使用による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、この取扱説明書は、取り付け作業後にお客様にお渡しください。

対応モデル　対応モデルについては予告なく変更になる場合があります。

地上·BS·110度CS デジタルハイビジョン 液晶テレビ	KDL-40J5000　KDL-40J3000 KDL-32J5000　KDL-32J3000

上記以外のモデルをお使いの場合は、本製品が使用できるかどうかテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

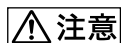
SU-WL500

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、まちがった使いかたをすると、火災･感電･転倒･落下などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告	この表示の注意事項を守らないと、火災･感電･転倒･落下などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。
⚠注意	この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

お客様へ

⚠警告

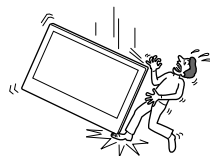
火災

感電

下記の注意事項を守らないと火災･感電･転倒･落下などにより死亡や大けがの原因となります。

取り付け工事は専門業者に依頼する また取り付けのときは幼児を遠ざける

正しく取り付けないと、以下のようなことがおこります。取り付けは専門業者にご依頼ください。

禁止

- テレビが落ちると、打撲や骨折など大けがの原因となります。
- 強度の弱い壁や、平面ではなかったり垂直ではない壁に取り付けた場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。壁は、少なくともテレビ質量の4倍に耐えられる強度が必要です。（テレビの質量はテレビ本体付属の取扱説明書をご覧ください。）
- 壁への取り付けがもろい場合、壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となります。

テレビの移動や取りはずしは、専門の業者に依頼する

専門業者以外の人が移動や取りはずしを行うと、テレビが落下したりして、けがや破損の原因となることがあります。また、移動や取りはずしは、必ず2人以上で行ってください。

テレビに水などの液体をかけない

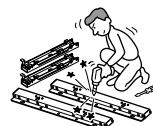
水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

テレビを取り付けたあとはネジなどをはずさない

テレビが落ちて、けがや破損の原因となります。

取り付け部品の分解、改造、変更は行わない

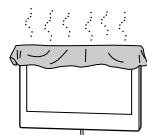
壁掛けユニットの落下によるけがや破損の原因となることがあります。

禁止

対応モデル以外のものを掛けない

この壁掛けユニットは対応モデル専用です。対応モデル以外の物を掛けると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

テレビの通風孔をふさがない

テレビの上に布などをかけて通風孔をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

禁止

テレビ以外の荷重を掛けない

落下によるけがや破損の原因となることがあります。

テレビに寄りかかったり、ぶら下がったりしない

テレビがはずれ、下敷きになり大けがの原因となることがあります。

テレビを雨や湿気にさらさない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となります。

湿気やほこり、湯気の多い場所、機械的振動の多い場所に置かない

火災や感電の原因となることがあります。

火のついたロウソクや燃えやすい物を近くに置かない

火災を防止するために、テレビから離れた所に置いてください。

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

テレビがはみ出すような取り付けはしない

壁掛けユニットを、柱などのテレビがはみ出してしまうような場所には取り付けないでください。身体や物などがぶつかってけがや破損の原因となります。

掃除やお手入れのときは、力をかけない

掃除やお手入れのときに、テレビの上面に手を置いたり、力をかけたりしないでください。テレビの落下によるけがや破損の原因となります。

エアコンの上や下にはテレビを取り付けない

送風などで直接、風が当たり続けたり、水もれによってぬれたりすると、火災や感電、故障の原因となることがあります。

使用上のご注意

- 壁掛けユニットにテレビを長期間取り付けてご使用されたときは、壁の材質によっては、テレビの放熱により、背面や上面にあたる壁面が変色したり、壁紙がはがれたりすることがあります。
- 壁掛けユニットをいったん取り付けると、はずした場合に、壁にネジ穴の跡や壁掛けユニットの取り付け跡が残ります。
- 壁の中に300Ωフィーダー線をすでに使っている場合は、壁の中の300Ωフィーダー線を75Ω同軸線に変更することをおすすめします。
  やむを得ず300Ωフィーダー線を使用する場合は、設置工事を始める前に、テレビと壁の中にあるフィーダー線との距離が充分に確保できているかを確認してください。
  また、雑音電波などの影響がでない場所などを事前に設置業者の方とご確認のうえ、工事を始めてください。

壁掛けユニットを取り付ける

販売店様・特約店様用

⚠警告

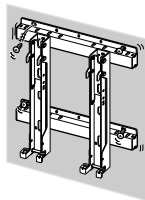
お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要になります。必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分考慮して確実に取り付けを行ってください。

販売店様・特約店様へ

以下の説明は、サービス専用です。安全上のご注意をよくお読みの上、設置および保守･点検などを安全に行ってください。

取り付け手順に従って、しっかり取り付ける

ネジがゆるんでいたり抜けていたりすると、壁掛けユニットが落下して、けがや破損の原因となります。壁の材質に合ったネジ(径8mm相当4本以上)で、しっかりと固定してください。

付属品のネジおよび取り付け金具は、取扱説明書の使用方法を守ってご使用ください。また、取扱説明書にない代替品を使用すると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

組み立て手順に従って、正しく組み立てる

ネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、落下によるけがや破損の原因となることがあります。

ネジは指定された位置にしっかりと締め付ける

テレビが落下して、けがの原因となることがあります。

取り付け作業中にテレビに衝撃を与えない

テレビが落下したり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

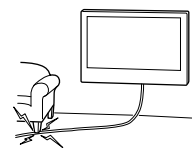
垂直で平らな壁面にテレビを取り付ける

垂直ではなかったり、平らではない壁面に取り付けると、テレビが落下して、けがの原因となります。

取り付け作業が適切に完了したら、ケーブル類を固定する

ケーブル類を足に引っかけたりすると、けがをしたり、テレビを破損したりすることがあります。

電源コードおよび接続ケーブルをはさまないようにする

電源コードおよび接続ケーブルを壁面にはさんだり、無理に曲げたり、ねじったりすると、芯線が露出したり、ショート、断線して、火災や感電の原因となります。

取り付けるときには、手や指を傷つけないように注意する

壁掛けユニットやテレビを取り付けるときに、手や指を傷つけないようにご注意ください。

壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません

壁の材質や構造に適したネジをご使用ください。

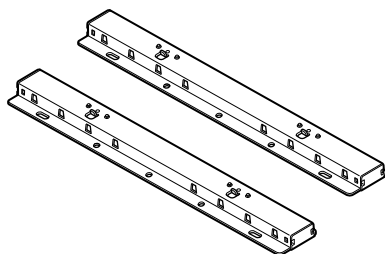
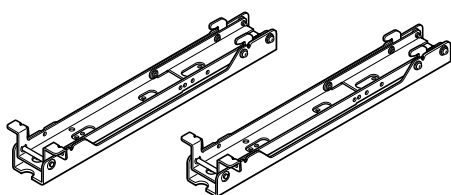
表紙に記載のある対応モデル以外をご使用のときは、必ずテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

ちょっと一言

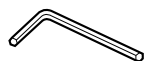
テレビ本体付属の取扱説明書をお持ちでない場合は、ソニーのホームページよりダウンロードいただくか、ソニーの相談窓口までお問い合わせください。ホームページとソニーの相談窓口については、裏表紙をご覧ください。

手順1：取り付けに必要な部品を確認する

1 取り付ける壁の材質に合った径8mm相当4本以上のネジ（付属品ではありません）とドライバーを用意する。

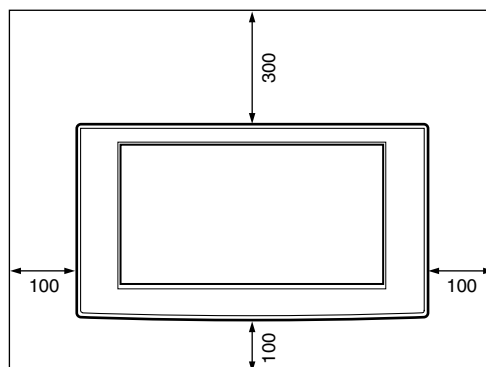
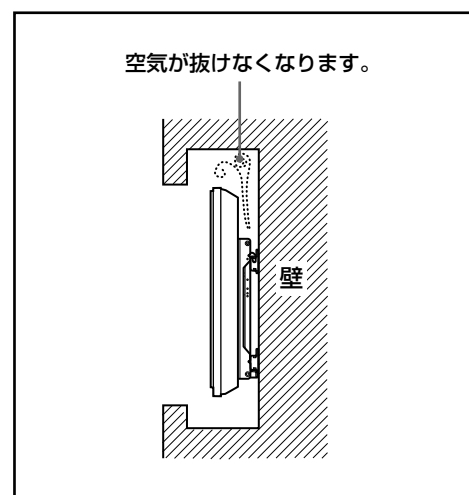
2 梱包を開いて、部品を確認する。

ベースブラケット（2）

マウンティングフック（2）

ネジ（＋PSW6×16）（4）

ネジ（＋BVST4×12）（6）

六角レンチ（1）

手順2：取り付け位置を決める

1 11ページのテレビ取り付け寸法表を参照し、テレビの取り付け位置を決める。

テレビの周囲には、次の図に示す寸法の空きが必要です。

下図のような設置はおやめください。

ご注意

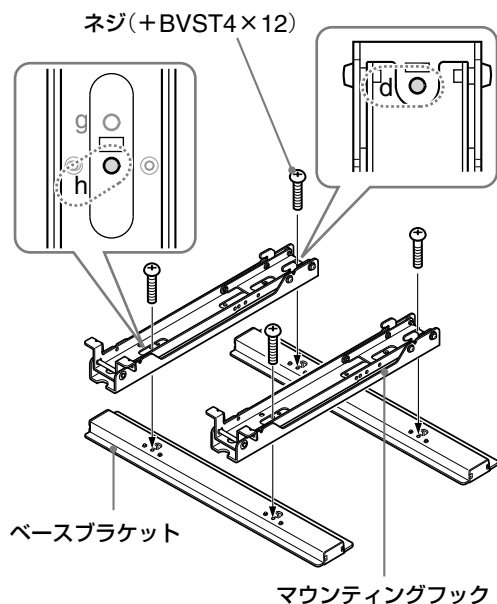
壁の中にケーブル類を配線する場合は、あらかじめ壁に穴を開け、配線できるかをお確かめください。

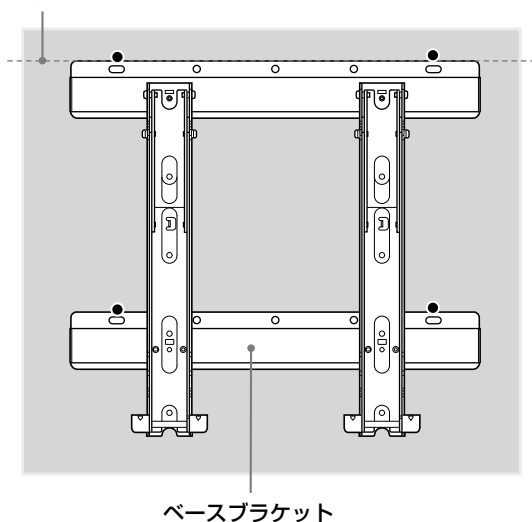
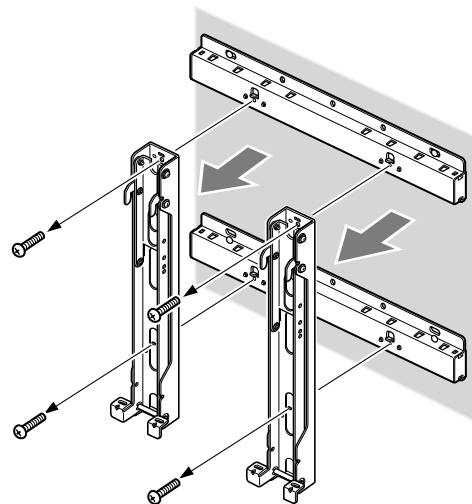
2 12ページの壁面加工用寸法図を参照し、ベースブラケット取り付け用のネジ穴位置を確認する。

> **⚠警告**
>
> 取り付ける壁にはテレビ質量の4倍に耐えられる強度を要します。（テレビの質量はテレビ本体付属の取扱説明書をご覧ください。）取り付け位置の壁面強度をご確認ください。強度が不足する場合は、充分な補強を行ってください。

手順3: ベースブラケットを壁に取り付ける

1 **ベースブラケットを径8mm相当4本以上のネジ(付属品ではありません)で固定する。**

❶ マウンティングフックのネジ穴(d、h)をベースブラケットのネジ穴に合わせ、付属のネジ(＋BVST4×12)でしっかりと留める。

❷ ベースブラケットとマウンティングフックを径8mm相当4本以上のネジ(付属品ではありません)で固定する。

次の図で示す4か所の●印のネジ穴に、ゆるみがないようにしっかりとネジ留めする。

❸ ❶でネジ留めしたマウンティングフックを取りはずす。

⚠注意

ネジを取りはずす際、マウンティングフックの落下にご注意ください。

⚠警告

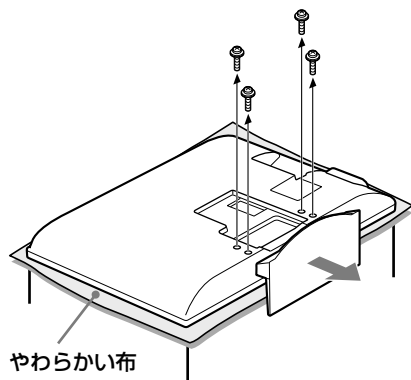
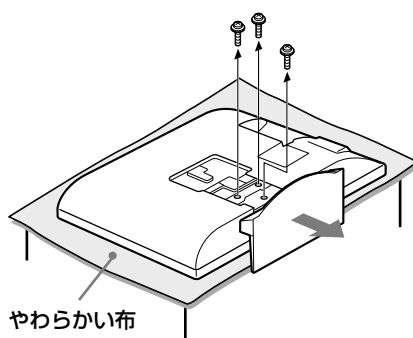
- 壁掛けユニットを壁面に固定するネジは付属しません。必ず、壁の材質や構造に適したネジをご用意ください。
- 強度不足のときはネジを追加してください。
- ベースブラケットが確実に壁に取り付けられたかを確認してください。

手順4: テレビの取り付け準備をする

表紙に記載のある対応モデル以外をお使いの場合は、必ずテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

1 **テレビ後面からネジを確実にはずし、テレビからスタンドを引き抜く。**

やわらかい布などを敷いた台に画面を下にしてテレビを載せ、スタンドを引き抜いてください。

次のテレビをお使いのとき:
KDL-40J5000/KDL-40J3000

次のテレビをお使いのとき:
KDL-32J5000/KDL-32J3000

ご注意

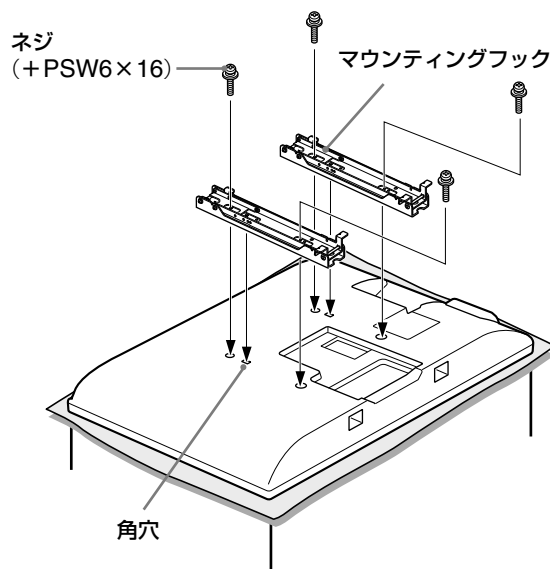
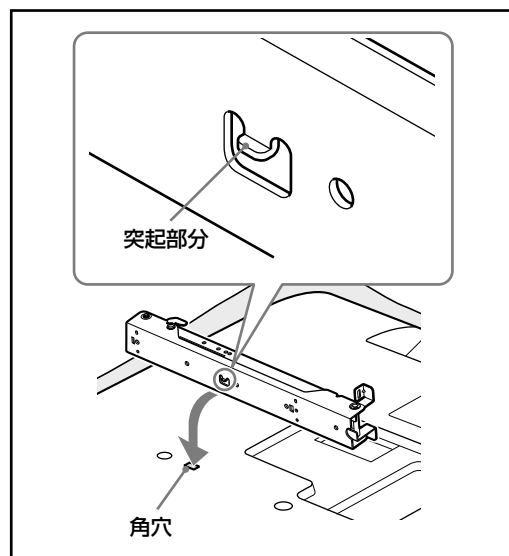
- 図のようにテレビより広い台の上に載せて作業してください。
- 台の上には突起や異物が無いことを確認し、やわらかい布などを敷いて作業してください。

⚠注意

- 画面に直接負荷や衝撃がかかると破損したり、傷がつく危険性があります。
- テレビ本体とスタンドを同じ水平面上に置くと不安定になり危険です。図のようにテレビ本体だけを台の上に載せるようにしてください。
- スタンドを引き抜くときは、スタンドをしっかり持つようにしてください。

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ2N・m{20kgf・cm}に設定してください。
マウンティングフックのネジ留め(左右各2本)が完了する前に、マウンティングフックを持ち上げないでください。マウンティングフックやテレビのキャビネットが変形する場合があります。

2 **13ページのネジ・フック位置一覧表を参照してネジ穴位置を確認し、マウンティングフックをテレビ後面に固定する。**

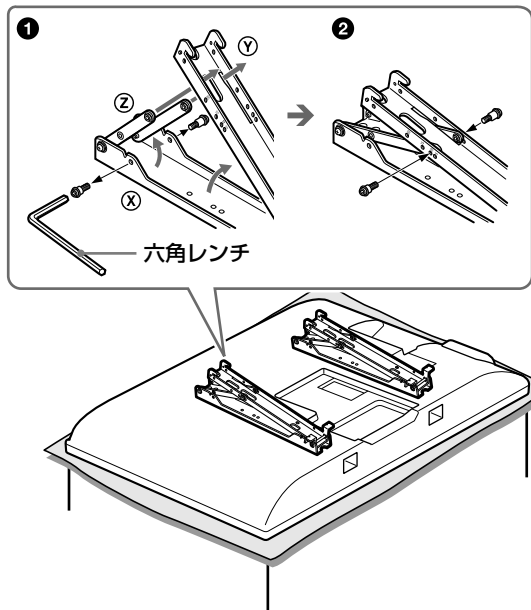
❶ マウンティングフックを付属のネジ(＋PSW6×16)4本で仮留めをする。
❷ テレビに均一に固定されるようにしっかり締め付ける。

下図を参照してマウンティングフックの突起部分が、テレビ後面の角穴におさまるように位置をあわせてください。

ご注意

マウンティングフックを取り付けるときは、付属のネジ(＋PSW6×16)以外は使用しないでください。

次のページにつづく ⇨

3 付属の六角レンチを使ってマウンティングフックのアームの角度を調整する。

テレビを垂直に取り付けて使用する場合(0°)は、角度調整(以下❶❷)をする必要はありません。左右のアームベースⓧのネジがしっかりと留まっているか確認してください。

❶ マウンティングフックのアームベースⓧから左右各2本のネジをはずし、変えたい角度の穴を決める(5°、10°、15°、20°)。
❷ 上のアームⓨと下のアームⓩを角度に合わせてネジ穴を調整し、手順❶ではずしたネジで両方のアームをしっかりと固定する。

ご注意

- 左右のアームは必ず同じ角度に調整してください。
- アームがしっかりとネジ留めされているかを確認してください。

⚠注意

アームの角度調整の際は、指をはさまないようにご注意ください。

角度調整についてのご注意

- 表紙に記載のある対応モデル以外をご使用のときは、それぞれの機器の大きさや寸法などに応じてアームの角度調整(0°、5°、10°、15°、20°)が制限されることがあります。
- 表紙に記載のある対応モデル以外のアームの角度調整を行う場合は、必ずテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

手順5:テレビを壁に取り付ける

表紙に記載のある対応モデル以外をお使いの場合は、必ずテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

⚠警告

すべての作業が終わるまで、電源コードをコンセントにつながないでください。機器などに電源コードをはさみこむと、ショートして感電する恐れがあります。また、電源コードやテレビを足に引っかけると、転んでけがの原因となることがあります。

1 テレビに、付属の電源コードおよび接続ケーブルをつなぐ。

テレビの後面に電源コードおよび接続ケーブルをつないでください。接続のしかたについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。

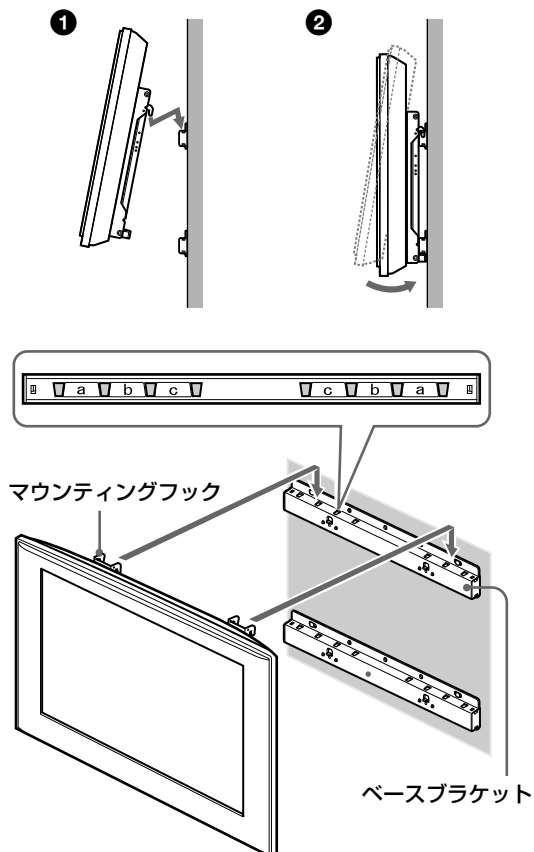
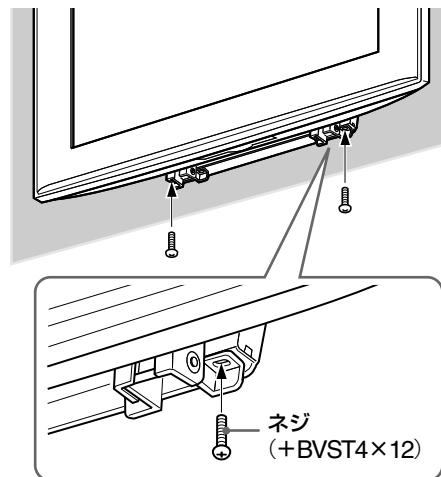
ご注意

- テレビをベースブラケットにいったん取り付けると、ケーブル類をつなげなくなります。
- 壁の中の配線、電気工事は専門業者にご依頼ください。

2 テレビをベースブラケットに取り付ける。

❶ 13ページのネジ･フック位置一覧表を参照して、マウンティングフック上側にあるフックをベースブラケットの所定の穴に掛ける。
❷ テレビをしっかり持ちながら、ゆっくりおろす。

⚠警告

テレビは、必ず2人以上で持って移動させてください。

3 テレビとベースブラケットを付属のネジ（＋BVST4×12）で固定する。

ご注意

電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクはおよそ1.5N･m{15kgf･cm}に設定してください。

⚠警告

ネジ（左右各1本）をしっかりと締め付けてください。このネジの締め付けが不充分だとテレビが上に押されたとき、壁掛けユニットからはずれ、落下によるけがの原因となります。

取り付け完了を確認する

以下の最終確認を行ってください。

- マウンティングフックのフックがベースブラケットに確実に掛かっていますか。
- ケーブル類がねじれたりはさまったりしていませんか。
- マウンティングフックとベースブラケットを固定しているネジ2か所は確実に締められていますか。

⚠警告

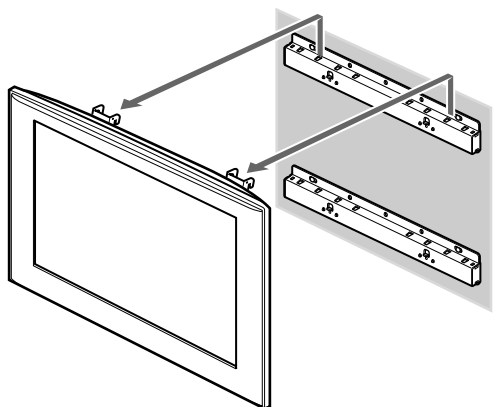
取り付けた状態での角度調整や不完全な取り付けは絶対におやめください。製品の落下によるけがや破損の原因となります。また、電源コードなどの不適切な処理は、ショートによる感電や火災を引き起こす恐れがあります。安全のために確認作業を確実に行ってください。

テレビを取りはずすには

販売店様・特約店様用

1 コンセントから電源コードを抜く。

2 テレビとベースブラケットを固定しているネジ2本をはずす。（ネジ位置は9ページ、手順5-3参照）

3 テレビを上に持ち上げて取りはずす。

⚠注意

- テレビを取りはずすときは、ケーブル類を引っ掛けないようにご注意ください。
- テレビを取りはずすときは、手や指を傷つけないようにご注意ください。

⚠警告

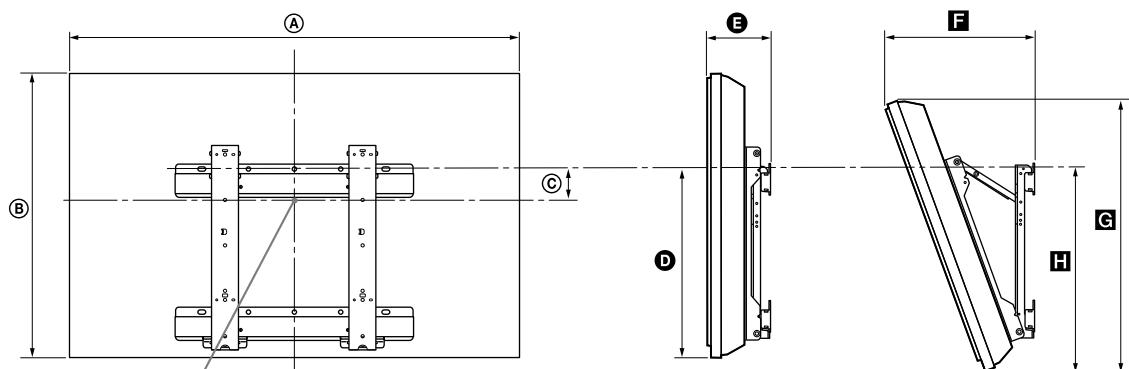
テレビは、必ず2人以上で持って移動させてください。

主な仕様

単位：mm
質量：4.7 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

テレビ取り付け寸法表

本製品にテレビを取り付けると、それぞれ下記寸法表に記載の数値になります。この寸法表を参考に壁に取り付ける位置を決めてください。
下記の表に記載のないテレビを取り付けるときは、必ずテレビ本体付属の取扱説明書、またはテレビ本体付属の別冊をあわせてご覧ください。

単位：mm

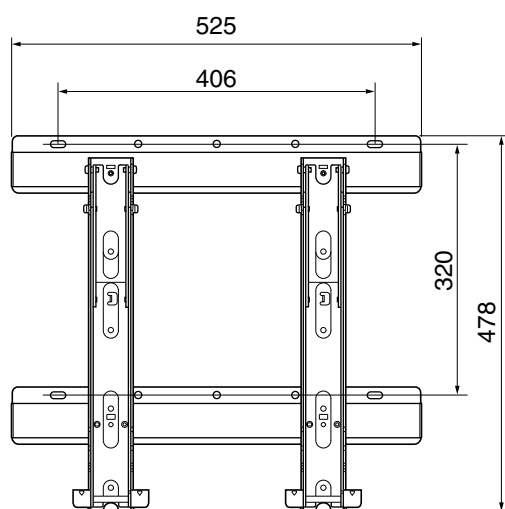
テレビ型名	テレビ寸法		画面中心寸法	取り付け角度による長さ				
				角度0°		角度20°		
	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	D	E	F	G	H
KDL-40J5000/KDL-40J3000	981	643	157	505	170	338	622	543
KDL-32J5000/KDL-32J3000	790	530	137	424	160	318	516	464

取り付け寸法は取り付け状態により若干異なることがあります。

⚠警告

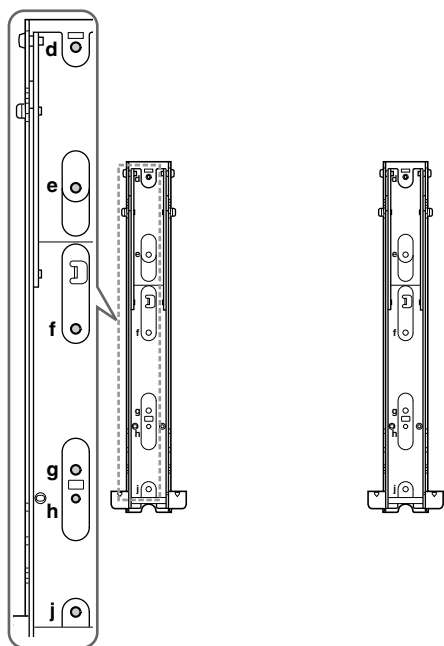
取り付ける壁にはテレビ質量の4倍に耐えられる強度を要します。
テレビの質量はテレビ本体付属の取扱説明書をご覧ください。

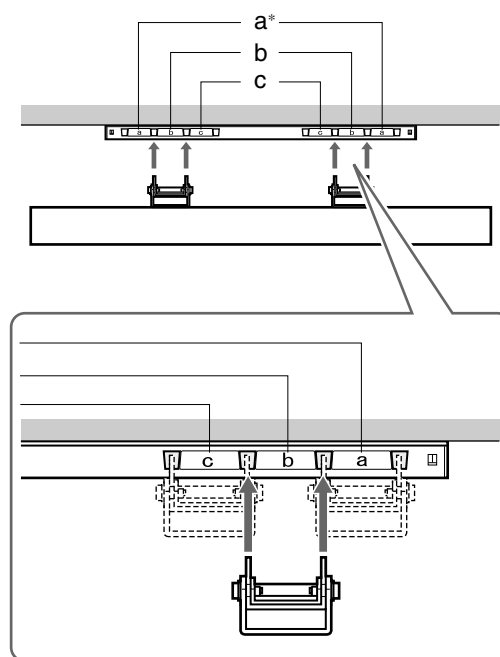
壁面加工用寸法図

単位：mm

ネジ・フック位置一覧表

テレビ型名	ネジ位置	フック位置
KDL-40J5000/KDL-40J3000	e、g	b
KDL-32J5000/KDL-32J3000	f、j	c

ネジ位置

マウンティングフックをテレビに取り付ける場合

フック位置

テレビをベースブラケットに取り付ける場合

* 上記のテレビ型名表に記載されているモデルでは、aのフック位置は使用しません。

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。　**http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル‥‥‥‥‥‥‥‥ 0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話‥‥ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「200」＋「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社　〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

Printed in China